

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年7月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆561億円(伸率:▲4.3%) ⇒ 4か月連続のマイナス

・順位:11位、7月としては2位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(559か月、7月は47か月)による。以下同じ。】

・減少品目:船舶(同▲54.5%)、鉄道用車両(同▲99.9%)

○輸入総額:8,223億円(伸率:▲21.0%) ⇒ 6か月連続のマイナス

・順位:40位、7月としては5位

・減少品目:原粗油(同▲37.4%)、石炭(同▲30.5%)

○差引額:2,338億円(伸率:3.7倍) ⇒ 6か月連続の輸出超過

・順位:15位、7月としては2位

為替レート: 2025年7月:145.56円/ドル(2024年7月:159.77円/ドルと比べ8.9%の円高)

<品目別動向>

○輸出

船舶(806億円→367億円、伸率:▲54.5%)は、マーシャル(153億円→実績なし)及びリベリア(241億円→107億円、同▲55.5%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

また、鉄道用車両(90億円→9百万円、同▲99.9%)は、台湾(73億円→実績なし)及びパナマ(16億円→実績なし)向けが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

一方、半導体等電子部品(1,522億円→1,731億円、同+13.7%)は、香港(497億円→791億円、同+59.0%)及びベトナム(198億円→317億円、同+60.1%)向けが増加し、3か月ぶりのプラスとなった。

○輸入

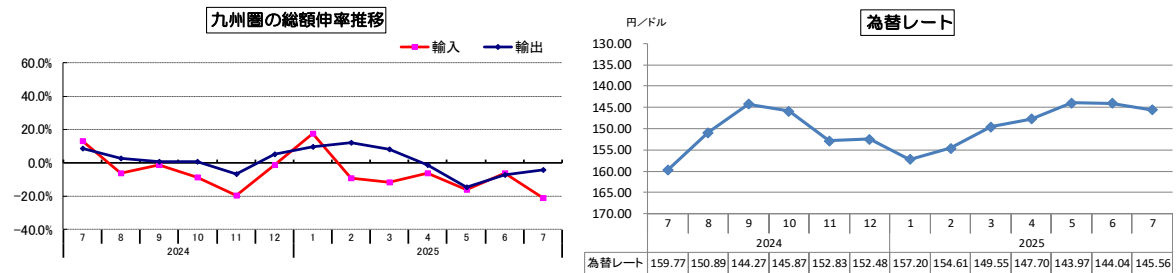
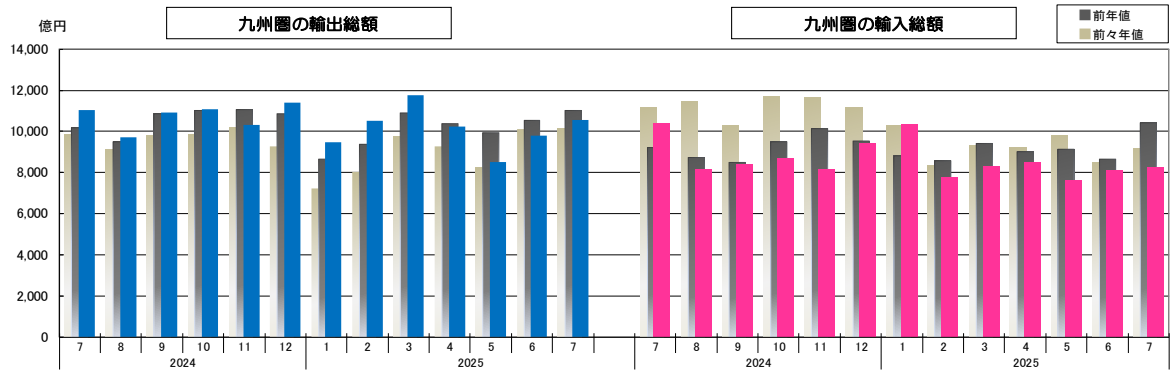
原粗油(234万KL→200万KL、伸率:▲14.4%、2,085億円→1,305億円、同▲37.4%)は、サウジアラビア(104万KL→52万KL、同▲49.9%、930億円→342億円、同▲63.2%)及びアラブ首長国連邦(92万KL→103万KL、同+12.2%、817億円→666億円、同▲18.4%)からが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

また、石炭(361万MT→388万MT、同+7.5%、1,015億円→706億円、同▲30.5%)は、カナダ(32万MT→10万MT、同▲69.2%、129億円→14億円、同▲88.9%)及びアメリカ(28万MT→18万MT、同▲37.1%、134億円→32億円、同▲76.0%)からが減少し、7か月連続のマイナスとなった。

一方、航空機類(1億円→88億円、同86.2倍)は、EU(6千万円→85億円、同133.6倍)及びアメリカ(3千万円→3億円、同12.0倍)からが増加し、4か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令和7年7月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。